

日韓係争の焦点「竹島」

さる十二日朝島根県竹島付近で海上保安庁巡視船へくろが韓国漁船から突然発砲された事件を重視し、政府は十三日夕外務省を通じて前例のない「嚴重抗議」を口上書をもつて在日韓国代表部に申し入れた。竹島は朝鮮独立以来日韓両国間で領土権問題につき係争対立していたものだが、同島にはさる五月二十八日も韓国漁夫が無断上陸した事実があつてこの時外務省から六月二十三日付で「竹島は日本領ゆえこんごこのような事態の再発防止のため善処されたい」との抗議を發したが、何ら韓国側から回答なく、十二日今回の不祥事となつたわけだが韓国側があくまで同島を自国領土とする主な理由には竹島は数世紀にわたつて韓国領だつた(総司令部指令第六六七号(日本の行政権停止)は竹島を日本領有から排除しているなどがあるが、以下「竹島」をめぐる日韓両国の史料をひもといてこの「竹島事件」を知を資としてみよう。

まず今回問題となつた「竹島」は、文献としては文政四年(一八二三年)に伊能忠敬が完成した「大日本沿海実測録」に「隠岐国知夫里郡に竹島、周回二町四十間、出雲国島根郡三保関より竹島岬まで二里十七町五十七間」とあり、江戸時代すでに隠岐の風島として認めていた。もちろんそれ以前にも日韓両国間で同島が問題となつたことはなく一般に日本領島として認めてきたよつて、これが改めて明治三十七年にいたり隠岐島民が夏期仮小屋を建て同島でアシカ獲りを始めたので翌三十八年二月二日島根県告示で島根県に編入、正式に日本領島となつて今日におよんでいる。この点韓国側が数世紀前から「竹島」は韓国領であつたと主張するのは十七世紀末、日韓両国間でその所屬問題から争論を起したいわゆる

韓「竹島事件」と混同か 平和条約でも日本領認む

六年)浜田の回船商人会津屋八右衛門が窮乏の浜田藩財政援助のため鬱陵島の立木を伐採して持ち帰つたことが判り、幕府は朝鮮に対する信義の一端もあり彼を死罪にした。

さて一方国際法上から見ても、領土権を確立するためには領土となす国家の意思とこの有効的經營を伴うのが必要であるとするのが国際法上の通念だが前述のように日本政府は日韓併合前明治三十八年二月二十二日付島根県告示で竹島を島根県所屬隠岐郡の所管に編入すると同時に、隠岐の人中井養三郎氏は日本政府の許可を得て竹島に漁舎を作つて漁業を行い二戰前まで日本国民によつて有

「竹島事件」の「竹島」と今回の「竹島」を同一視し誤認している節があるよつた。

この竹島事件の「竹島」というのは現在の韓国慶尙北道に属する鬱陵島のこと、当時日本側は寛文七年(一六六七年)の隠岐

また同米子の豪民大谷、村川の二人はそれより古く元和三年(一六二七年)以来、領主の池田光政から竹島渡海の免許を受け毎年出漁、その子孫が引きつゞき鬱陵島である竹島に出漁し元祿に

ことを明示している。その対日講和発効に先立ち昭和二十七年四月二十五日付覚書でマ・ラインは撤廃された。

さらに昨年四月二十八日発効した平和条約において、条文中に「日本国は朝鮮の独立を承認し」と規定しているがこれは日韓併合前の朝鮮が日本から分離独立したことを日本が認めたをいうのであつて、日韓併合前に日本領土であつた領土を新たに独立した朝鮮に割譲する意味は全く含まれていない。また平和条約第一章第二条(A)の規定からいつても済州島、巨文島、鬱陵島の三島以外の竹島は

視線合記によると、隠岐の成亥(北々西)航程二日一夜に松島、一日程に竹島があり竹島は俗に磯竹島といふ竹、魚、海鹿を産し両島ともに無人島で「高麗を見ること雲州より隠州を望む如し、然れば即ち日本の乾坤此州を以つて限とす」とあつて鬱陵島を隠岐の属島とみなし元祿年間まで因幡国に属するものと思ひ込んでいた。そして通商一覽所収の韓録には、寛永十四年(一六三七年)伯州会見郡米子の市長衛竹島に出漁し蔚山鮫魚津に漂着したとあり

渡海してみると朝鮮人が群居して漁をしており日本船をよせつけず逆に対馬の宗対馬守義倫を中に介して日鮮両国の所屬の争論が起さたのである。

もとく朝鮮側としては日本側のいう松島、竹島、磯竹島は新羅時代の朝鮮領の一名で朝鮮領としており朝鮮通交大紀によるとこの間題発生前の慶長十七年(一六二二年)宗対馬守義智が朝鮮國東萊府に書を送り、竹島が日本の属島である旨主張しているのに対し竹島は朝鮮領鬱陵島であると抗議

効的經營がなされてきた。終戦後G・H・Qは政府にたいし一九四六年一月二十九日付覚書(SCA PIN)第六六七号で、日本政府が竹島に対して政治上、行政上の権利行使を停止するよう指令したが、竹島を日本領土から除外するものでなかつたことは同覚書第六項において明らかである。またマ・ライン設定についても一九四六年六月二十二日付覚書で竹島に漁船の近接を禁止しているが、同覚書第五項で何ら竹島にたいする日本国統治権を否定するものでない